

総務文教

# 開

## 発計画の方向性を示すこと 広野駅東側開発

復興企画課長より説明を受け、各委員より、富岡土木事務所跡地の用途はどの様に考えているのか、近代農業ゾーンの事業計画の方向性を示すべき、ホテル事業のスターリングパートナーズとプログレスの円滑な経営を把握できるのか、10年計画の

復興を進めているが、年数が経過する中で事業計画を見直す必要があるのではないか、などの質疑がありました。町より、富岡土木事務所跡地については賃貸借契約が継続しており、県の活動拠点として使用するのであれば検討する。プログレスとは町と運営をするにあたって基本的な状況を踏まえた協定を締結する予定である。

近代農業ゾーンについては、採算又は事業の見通しがはかれない場合には、見直しを行うとの説明がありました。委員会としては、広野駅東側の各エリア開発については、計画の方向性をしっかりと示し、地権者及び町民の方々に理解をいただく中で、計画を進めるよう要請しました。



復興が進む駅東側区域

# 委員会報告

## 各常任委員会の活動状況を報告します。

総務文教常任委員会  
産業厚生常任委員会

平成29年 5月15日(月) 午前開催  
平成29年 5月16日(火) 午前開催



たなばた会（幼稚園）

## 外 高年齢者対策 支出支援策の対象内容は

健康福祉課長より説明があり、各委員より、本年度からの取り組みで外出支援策の対象内容について、広桜荘の土曜日開所等についての質疑がありました。町より、対象は要介護2以上と身体障がい者・認知症の方で現在申請は23県中13人利用、個人負担は無料である、利用内容は公共施設・病院等に限りその他の利用は遠慮いただいている、広桜荘の土曜日利用について人員の確保ができておらず応募の中身の改善等も考慮したいとの説明でありました。

## 保 護者説明会での意見の反映は 幼保連携型認定こども園整備事業

子ども家庭課長より説明があり、各委員より、保護者説明会での意見は反映されているのか、設計・工事費総額と補助金について、現在の幼稚園について、未来学園高校の工程と町内建設業者の積極的な活用についての質疑がありました。町より、保護者から安全確認の指摘を受け、今後協議を進めて行く、事業費全体では建物本体で約5体で約5億円、駐車場・外構で約3億円、総額で8億円で、そのうち補助金が6億円、残り2億円が町単費になる、幼稚園の解体はせず再利用を考慮しており、未来学園の工事は29年度から土取り・建設が行われるが、地元事業者もしっかり受け止めているとの説明がありました。



認定こども園イメージ図

## 地 域医療支援の基金総額は

健康福祉課長より説明があり、各医院より、地域医療支援事業として、現在の基金総額はいくらになつているのか、さらに3カ月一回実施状況・報告は約束できるのかとの質疑がありました。町より、本年度1740万円の予算を計上しているが基金からの繰り出しになるので、2800万円から支出済み分を差し引

## 町 内利用土の協力体制を 防災拠点・道の駅ひろの整備

建設課長より説明があり、各委員より、地権者説明会の開催回数と財源、運営主体について、本町の施設に於いても3年目に黒字化計画であるが確かなのか、供用開始平成32年に対し、帰還困難区域自治体の不足土受け入れ体制が大きく遅れており、土取り搬出事業は前進するのか、ほ場整備事業への客土利活用について配慮できるのか等について質問がありました。